

第3章 ゾーン別構想

ゾーン別構想では、全体構想で掲げた「2.2 まちづくりの基本方針に基づく施策」について、具体的に展開していく地域をゾーン別に整理しています。

3.1 地域区分

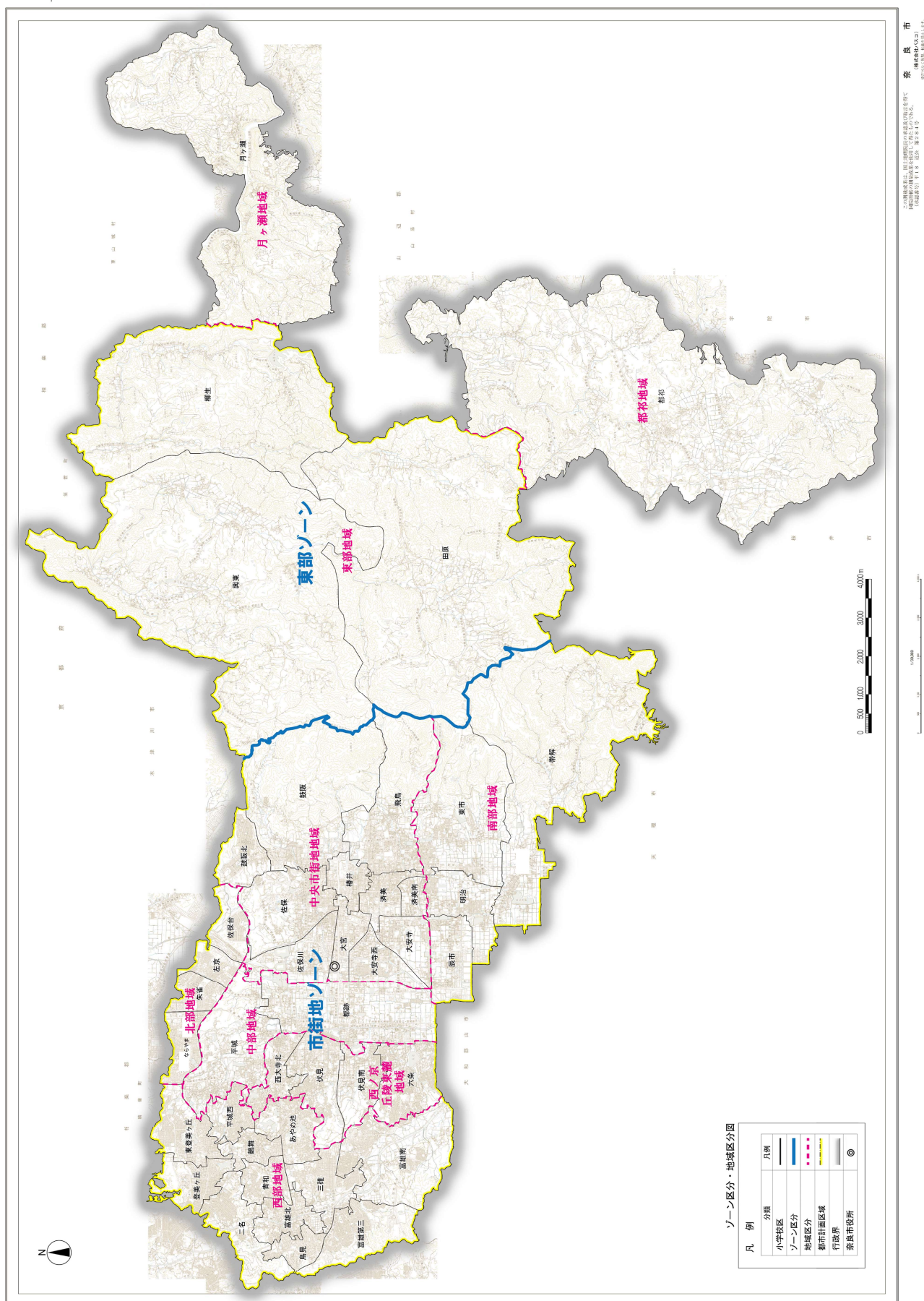
3.1.1 ゾーン区分・地域区分

地域区分は、歴史的な沿革や地形、地理的条件、地域の生活圏及び上位計画等を考慮し、本計画では以下のとおり東部ゾーンと市街地ゾーンの2種類のゾーン区分とします。

図 3-1 ゾーン区分

ゾーン	地域名	小学校区	ゾーン	地域名	小学校区
東部ゾーン	東部地域	田原	市街地ゾーン	西ノ京丘陵東麓地域	伏見
		柳生			六条
		興東			西大寺北
	月ヶ瀬地域	月ヶ瀬			伏見南
	都祁地域	都祁		西部地域	富雄南
市街地ゾーン	中央市街地地域	椿井			富雄北
		飛鳥			あやめ池
		鼓阪			鶴舞
		済美			鳥見
		佐保			登美ヶ丘
		大宮			青和
		大安寺			東登美ヶ丘
		大安寺西			二名
		済美南			富雄第三
		鼓阪北			平城西
		佐保川			三碓
	南部地域	東市		北部地域	ならやま
		辰市			朱雀
		明治			佐保台
		帯解			左京
	中部地域	都跡			
		平城			

図 3-2 ゾーン区分図



3.1.2 地域特性

本市は、地理地形条件や都市機能等の地域特性から、東部ゾーン・市街地ゾーンの2種類のゾーンに類型化することができます。以前では地域別構想は9地域に分割していますがスマートインフラによる都市サービスの提供や広域的な行政サービスの提供等より広範囲で、市域を越えたまちづくりの連携も必要となってきたおり、今回から2つのゾーン（東部ゾーン・市街地ゾーン）に分類している。

ゾーン別構想では、以下のゾーンごとの特性や課題に配慮するとともに、地域ごとの特性や課題にも配慮して、将来像や地域づくりの方針を設定します。

【東部ゾーン（東部地域・月ヶ瀬地域・都祁地域）】

東部の中山間地域に位置し、都市計画区域外又は市街化調整区域に属する東部ゾーンは、豊かな自然の中で暮らしが営まれ、これが地域の魅力となっていることから、主に以下のことが重要なゾーンです。

- ・自然共生型の土地利用を基本としつつ、地域発展に寄与する開発等を計画的に誘導し、高齢化社会にも対応した生活環境を創出します。

- ・自然環境等、地域の魅力を保全・活用し、都市部との交流により地域の活力を伸展します。

また、生活基盤の維持や都市部との交流という観点から、地域相互の関係性として、主に以下のことが重要なゾーンです。

- ・道路整備だけでなく、公共交通の在り方も含めた総合的な交通体系を構築し、奈良市中心部や周辺都市への交通利便性を向上させます。

【市街地ゾーン（中央市街地地域・南部地域・中部地域）】

本市の中心部に位置し、奈良のアイデンティティの中心、都市機能の中核、観光交流機能の玄関口という役割を担う市街地ゾーンは、歴史文化と自然環境が融合し、その中で暮らしが営まれ、これが奈良の最大の魅力となっていることから、主に以下のことが重要なゾーンです。

- ・この魅力の根幹となる古代から中世・近世の歴史・文化や自然環境を保全・活用します。

- ・歴史・文化や自然環境に配慮した土地利用、都市施設の整備を行い、暮らしの利便性向上を図ります。

また、都市機能の中核、観光交流機能の玄関口として人を呼び込み、市内各地や周辺市町との連携を強化するという観点から地域相互の関係性として、主に以下のことが重要なゾーンです。

- ・都市機能や交通のターミナル機能の充実、総合的な交通体系の構築を図ります。

【市街地ゾーン（西ノ京丘陵東麓地域・西部地域・北部地域）】

西部及び北部に位置し、大阪都市圏の住宅都市として開発された市街地ゾーンは、他の地域に比べ、都市機能や交通、医療福祉等、暮らしの利便性は一定水準確保されている一方で、世代交代という新たなまちづくりの課題が懸念されることから主に以下のことが重要なゾーンです。

- ・多様な世代の居住や高齢化社会に対応した計画的な土地利用、地域住民とともに展開する新たなまちづくり、暮らしの利便性向上を図ります。

また、暮らしの利便性や交流機能強化の観点から、地域相互の関係性として、主に以下のことが重要なゾーンです。

- ・地域拠点となる駅周辺の都市機能の充実、総合的な交通体系の構築を図ります。